

-----12月10日-----

※ 今週のアウトルック (12/10~12/14)

先週は米国財政の崖への懸念が幾分和らいだことなどから、一時的に円安が進む場面もありましたが、全般的には金曜日の米国雇用統計を睨んだ動きとなりました。

金曜日の雇用統計発表後は、予想を上回る改善だったため、直後には大きくドル高円安が進みましたが、NY市場が始まり時間がたつにつれ、上げ幅を帳消しするような動きとなってしまいました。

今週は、もう一段ドル高円安が進むのか否か、週初の動きにまづ注目したいところです。

ドル円は、雇用統計の好結果を受けてリスクテイク的な要素が強くなっています。財政の崖の話し合いの動向には敏感に反応しそうですが、基本的にはもう一段のドル高が進む可能性が少し高いように思います。

ドル円の予想レンジは82円から83.5円です。

ユーロは先々週までで、ギリシャ問題の楽観視による買い戻しが一段落したようで、幾分利益確定売りが先行しています。

今週はテクニカル的に見て、ユーロドルが1.29付近で下げ止まるか、1.27付近まで戻してしまうのかが、一つのポイントとなりそうです。

1.27付近まで下落した場合は、当面の上昇トレンドの終局的な要素が強くなるように思います。ユーロ円は107円から108円付近を基本とした、レンジ的な動きになる可能性が高いように思います。

ユーロ円の予想レンジは105円から108円です。

ポンド円は今週も133円付近の厚いレジスタンスが課題となりそうです。ドル高円安の波に乗って、今週ブレイクできる可能性もありそうですが、ブレイク確率は5分5分と考えておいたほうが良いように思います。

ポンド円の予想レンジは131円から135円です。

今週は米国雇用統計の好結果がどこまでリスクテイクとして反映されるか、それとも、クリアマス休暇前の利益確定売りが強く押し戻してしまうのか、週初の動きにまず注目したいと思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。

ます。